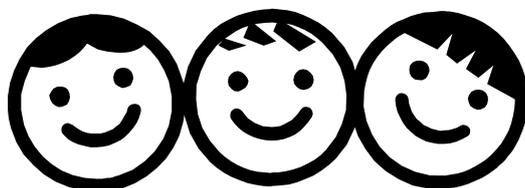


令和7年度

高校生の男女共同参画と
DVに対する男女の意識に関する
アンケート調査結果について



令和8年2月

鹿角市市民部生活環境課

調査の概要

1. 調査目的

本市では、男女共同参画について考えるきっかけづくりや人権教育の推進などにより、男女がそれぞれを認め合い、思いやる関係の構築と格差・差別、暴力のない社会を目指しています。

本調査は、高校生における男女共同参画と男女間のDV意識に関する実態の把握を行い、DVについての認識を浸透させるとともに、今後の若年層に向けた男女共同参画事業の参考とし、男女共同参画社会の実現を目指すことを目的としています。

2. 調査対象

鹿角高校2年生を対象としました。

3. 調査方法

対象の159人に対して学校を通じて調査票を配付し、記入後回収しています。

4. 調査期間

令和7年12月16日（火）から令和7年12月26日（金）まで

5. 調査内容

- ・男女共同参画に関する用語の認知度について・・・・・・・・・・・・・・・・P 1
- ・学校における男女共同参画について・・・・・・・・・・・・・・・・P 4
- ・性別により役割や責任が固定される考え方について・・・・・・・・P 5
- ・デートDVについて・・・・・・・・・・・・・・・・P 6
- ・DV行為に対する意識について・・・・・・・・・・・・・・・・P 8
- ・DV行為に関する相談機関について・・・・・・・・・・・・・・・・P 2 2
- ・性別に関わらず、生きやすい社会にするために必要なことについて・・・・P 2 3

6. 調査結果

調査票送付数	159
調査票回収数	147
回収率	92.5%

7. 調査結果の公表について

本調査の集計結果は、鹿角高校に配付するほか、市ホームページ上で公開します。また、鹿角市男女共同参画推進会議に報告するとともに、必要に応じて市民に周知し、若年層に向けた男女共同参画施策の企画立案の基礎資料とします。

8. その他

割合の表示は、小数点以下第2位を四捨五入することを基本とし、その合計が100%にならない場合は、100%になるよう調整を行っています。

○回答者の属性

問1. あなたの性別を教えてください。

	人数(人)	割合(%)
男性	70	47.6
女性	77	52.4
計	147	100

○調査の結果

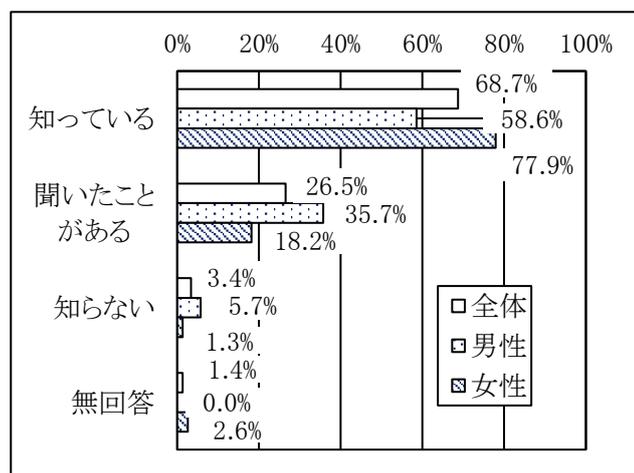
・男女共同参画に関する用語の認知度について

問2. あなたは、次のような用語について知っている、または聞いたことがありますか。

(1) 男女共同参画社会

6割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	101	68.7	41	58.6	60	77.9
聞いたことがある	39	26.5	25	35.7	14	18.2
知らない	5	3.4	4	5.7	1	1.3
無回答	2	1.4	0	0.0	2	2.6
計	147	100	70	100	77	100



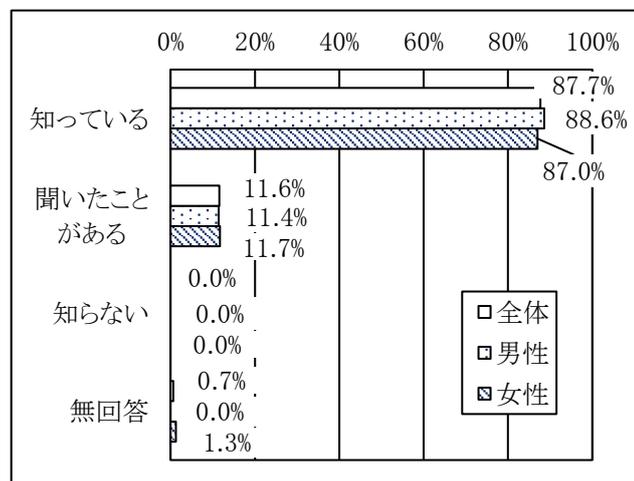
(2) ワーク・ライフ・バランス

8割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

また、「知らない」と回答した生徒はい

ませんでした。

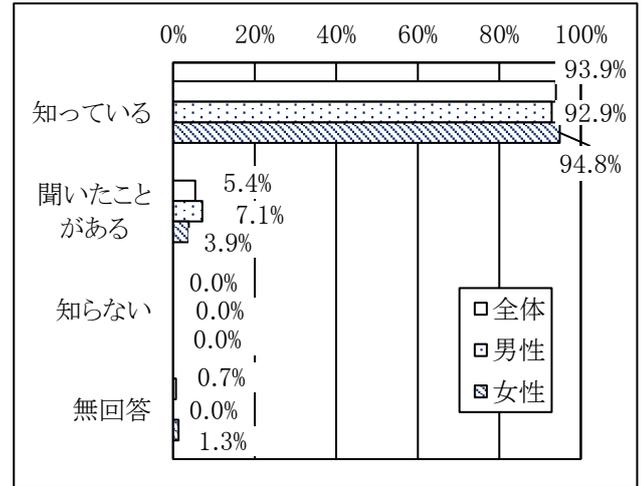
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	129	87.7	62	88.6	67	87.0
聞いたことがある	17	11.6	8	11.4	9	11.7
知らない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



(3) DV

9割以上の生徒が「知っている」と回答しました。また、「知らない」と回答した生徒はいませんでした。

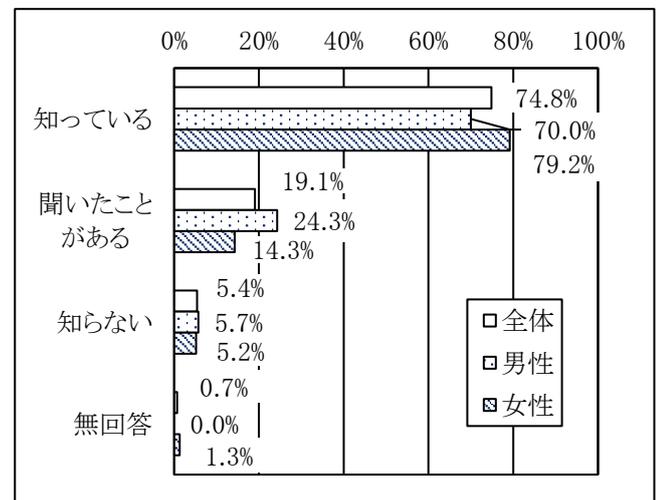
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	138	93.9	65	92.9	73	94.8
聞いたことがある	8	5.4	5	7.1	3	3.9
知らない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



(4) 育児・介護休業法

7割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

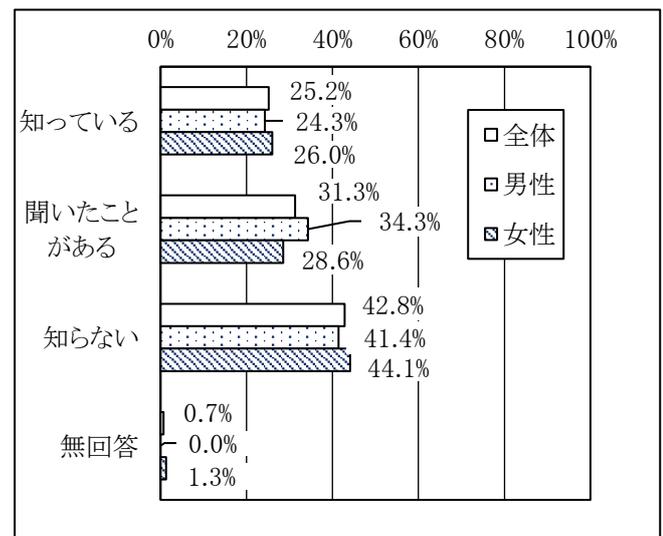
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	110	74.8	49	70.0	61	79.2
聞いたことがある	28	19.1	17	24.3	11	14.3
知らない	8	5.4	4	5.7	4	5.2
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



(5) 固定的性別役割分担

5割以上の生徒が「知っている」「聞いたことがある」と回答しました。

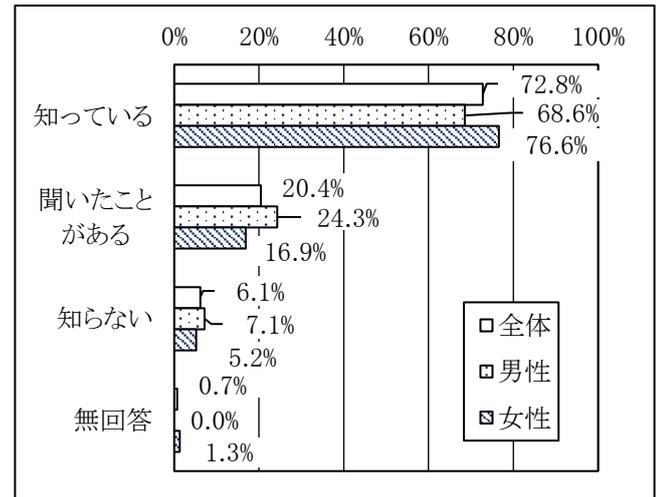
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	37	25.2	17	24.3	20	26.0
聞いたことがある	46	31.3	24	34.3	22	28.6
知らない	63	42.8	29	41.4	34	44.1
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



(6) L G B T

7割以上の生徒が「知っている」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
知っている	107	72.8	48	68.6	59	76.6
聞いたことがある	30	20.4	17	24.3	13	16.9
知らない	9	6.1	5	7.1	4	5.2
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



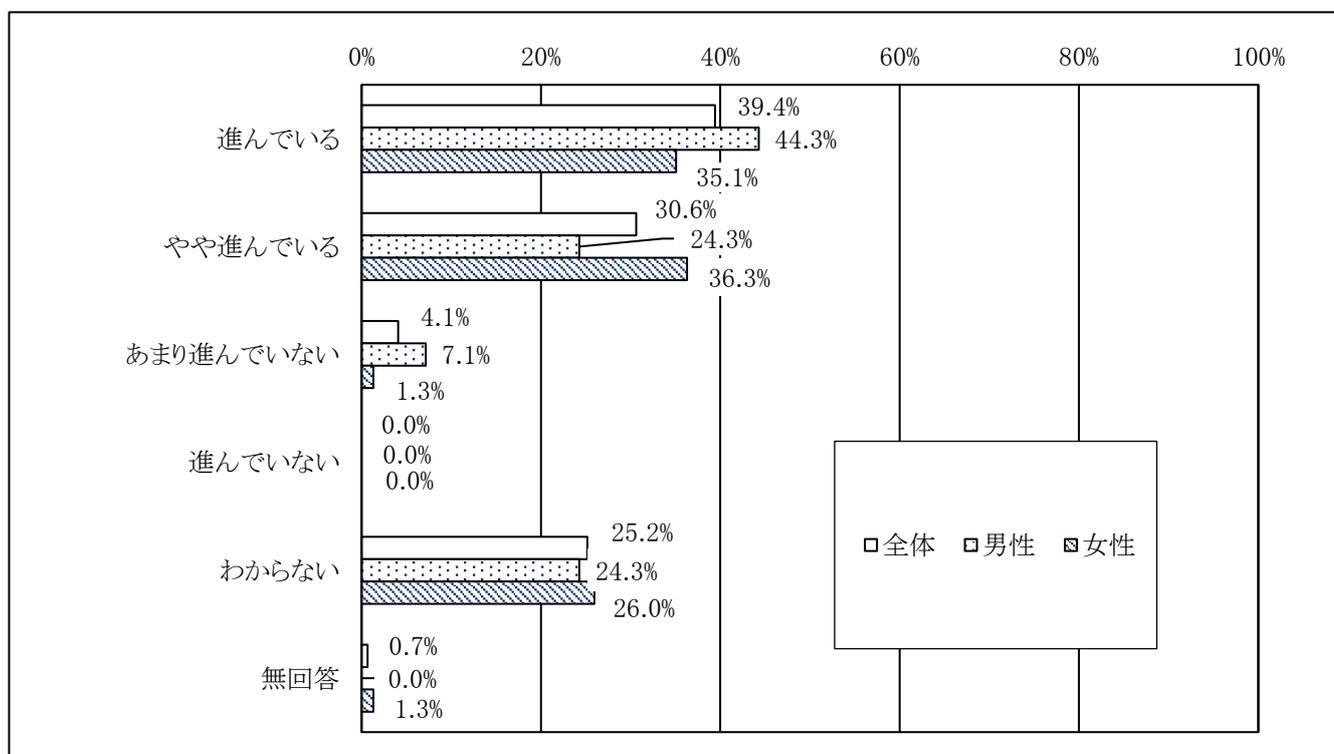
○「育児・介護休業法」と「LGBT」という用語について、昨年度より「知っている」の割合が、「育児・介護休業法」は13.4ポイント、「LGBT」は19.0ポイント増加しました。

・学校における男女共同参画について

問3. 学校において男女共同参画は進んでいると思いますか。

7割の生徒が「進んでいる」または「やや進んでいる」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
進んでいる	58	39.4	31	44.3	27	35.1
やや進んでいる	45	30.6	17	24.3	28	36.3
あまり進んでいない	6	4.1	5	7.1	1	1.3
進んでいない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
わからない	37	25.2	17	24.3	20	26.0
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



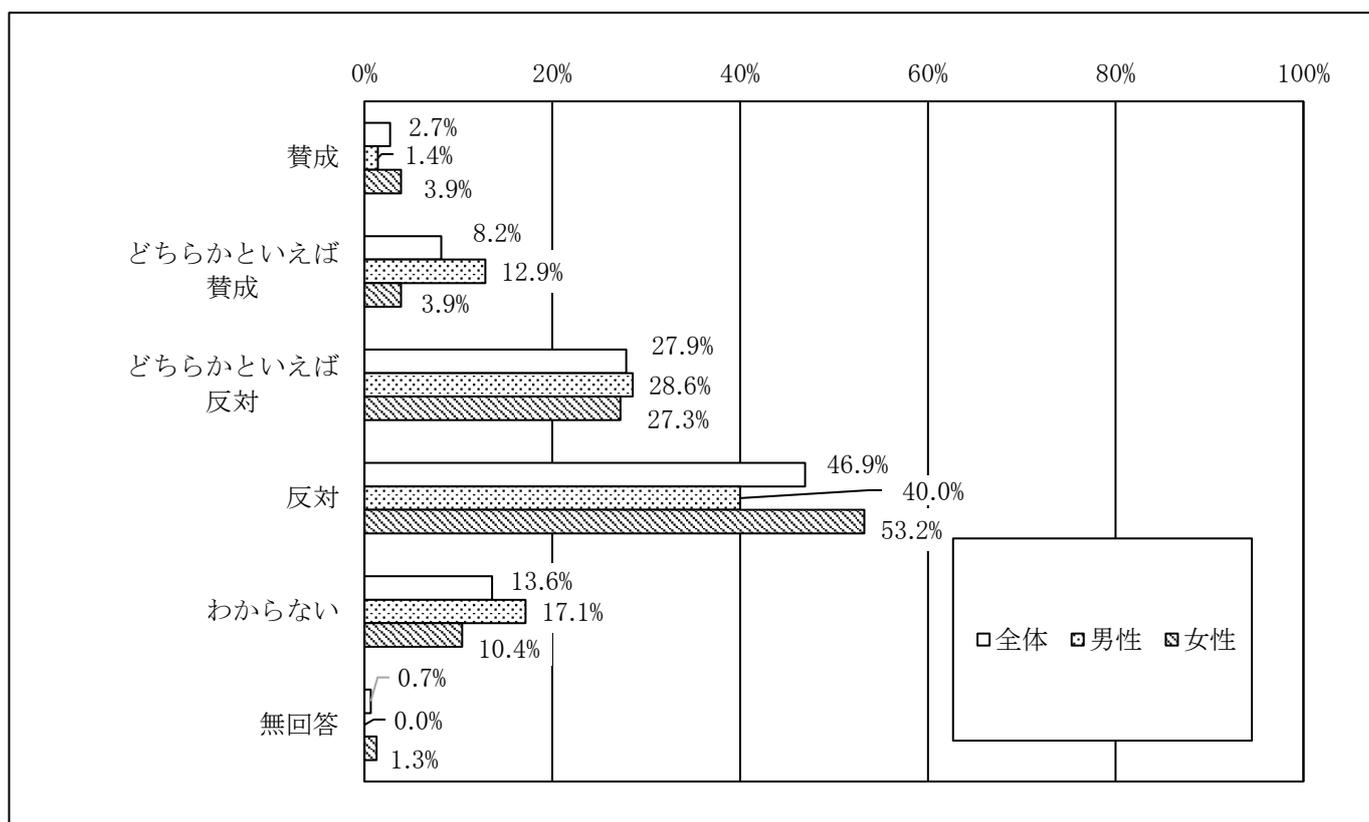
○「進んでいる」または「やや進んでいる」の割合について、昨年度より7.1ポイント減少しました。男女別では、男性は5.7ポイント、女性は8.4ポイント減少しました。また、「わからない」の割合について、8.7ポイント増加しました。

・性別により役割や責任が固定される考え方について

問4. 本人の意思に関わらず、性別により役割や責任が固定される考え方について、あなたはどのように思いますか。

7割以上の生徒が「どちらかといえば反対」または「反対」と回答し、男性の割合が低く、女性との差は11.9ポイントとなっています。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
賛成	4	2.7	1	1.4	3	3.9
どちらかといえば賛成	12	8.2	9	12.9	3	3.9
どちらかといえば反対	41	27.9	20	28.6	21	27.3
反対	69	46.9	28	40.0	41	53.2
わからない	20	13.6	12	17.1	8	10.4
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



○昨年度も、「どちらかといえば反対」または「反対」と回答した女性の割合は男性より7.4ポイント高かったですが、今年度は、11.9ポイントと拡大しており、固定的性別役割分担に対する男性と女性の考え方の差が大きくなっています。

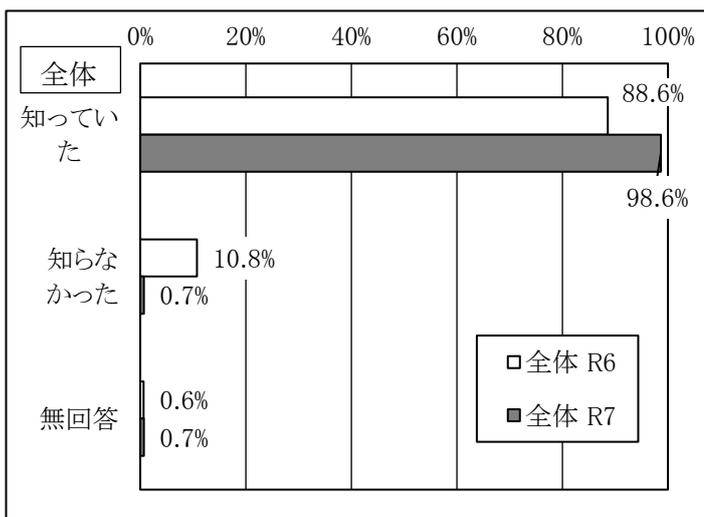
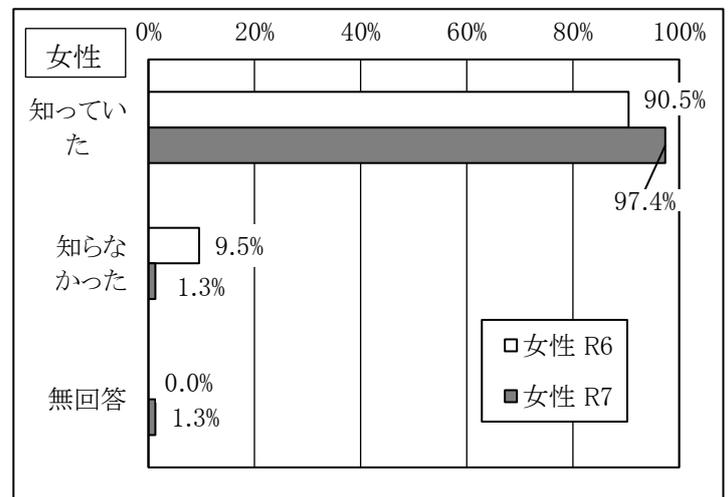
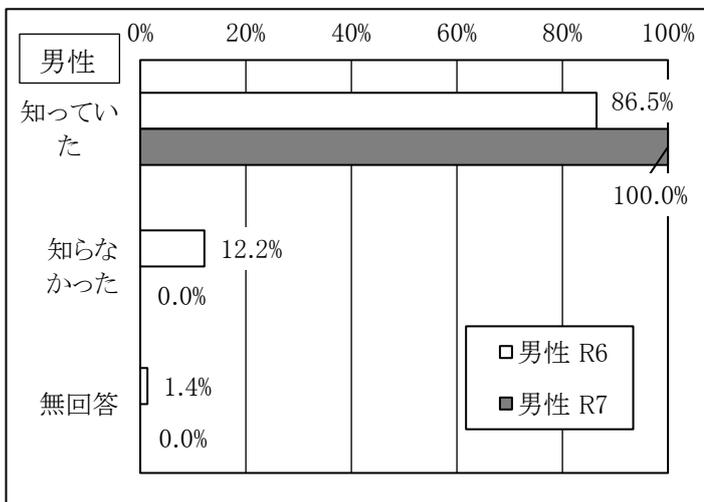
・デートDVについて

問5. あなたは、このアンケート以前に、デートDVという言葉を知っていましたか。

9割以上の生徒が「知っていた」と回答し、その割合は昨年度に比べて10.0ポイント増加しました。男性は全員が「知っていた」と回答しました。

	全 体				男 性				女 性			
	R7		R6		R7		R6		R7		R6	
	人数 (人)	割合 (%)										
知っていた	145	98.6	140	88.6	70	100.0	64	86.5	75	97.4	76	90.5
知らなかった	1	0.7	17	10.8	0	0.0	9	12.2	1	1.3	8	9.5
無回答	1	0.7	1	0.6	0	0.0	1	1.4	1	1.3	0	0.0
計	147	100	158	100	70	100	74	100	77	100	84	100

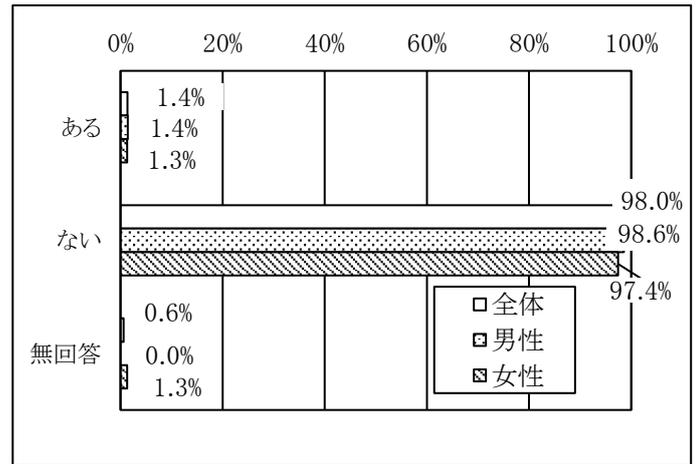
※鹿角市男女共同参画計画の評価指標であることから、前回調査時との比較を実施。



問6. あなたは、これまでに交際相手からデートDVと思われる行為を受けたことがありますか。

2人が「ある」と回答しました。

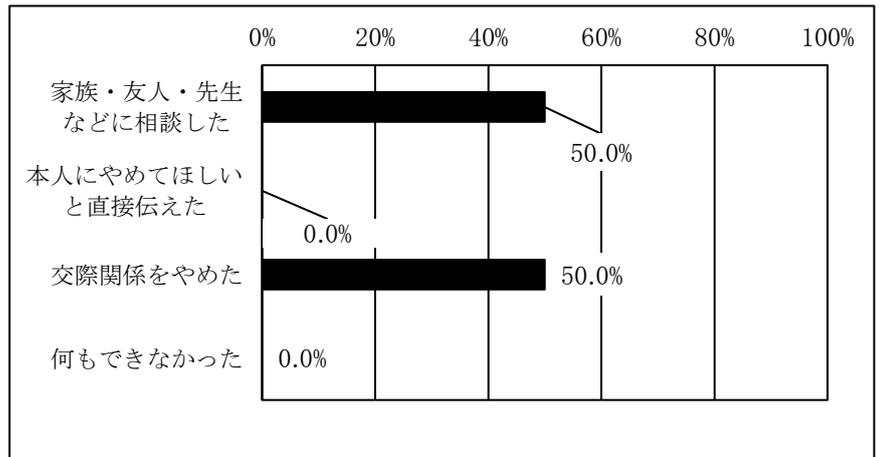
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	2	1.4	1	1.4	1	1.3
ない	144	98.0	69	98.6	75	97.4
無回答	1	0.6	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



問6-1. 「ある」と回答した人に質問します。デートDVと思われる行為を受けたときに、どのような対応をしましたか。(複数回答)

「家族・友人・先生などに相談した」「交際関係をやめた」という回答がありました。

	人数(人)	割合(%)
家族・友人・先生などに相談した	1	50.0
本人にやめてほしいと直接伝えた	0	0.0
交際関係をやめた	1	50.0
何もできなかった	0	0.0

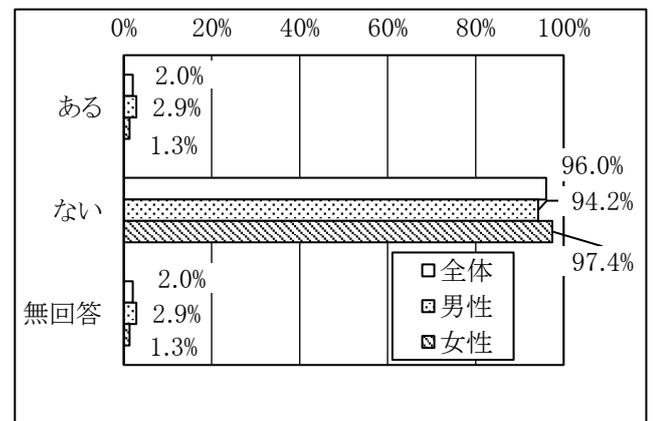


※問6で「ある」と回答した人数に対する割合

問7. あなたの友人やクラスメートが、デートDVと思われる行為を受けているのを見たり聞いたりしたことがありますか。

3人の生徒が「ある」と回答しました。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	3	2.0	2	2.9	1	1.3
ない	141	96.0	66	94.2	75	97.4
無回答	3	2.0	2	2.9	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



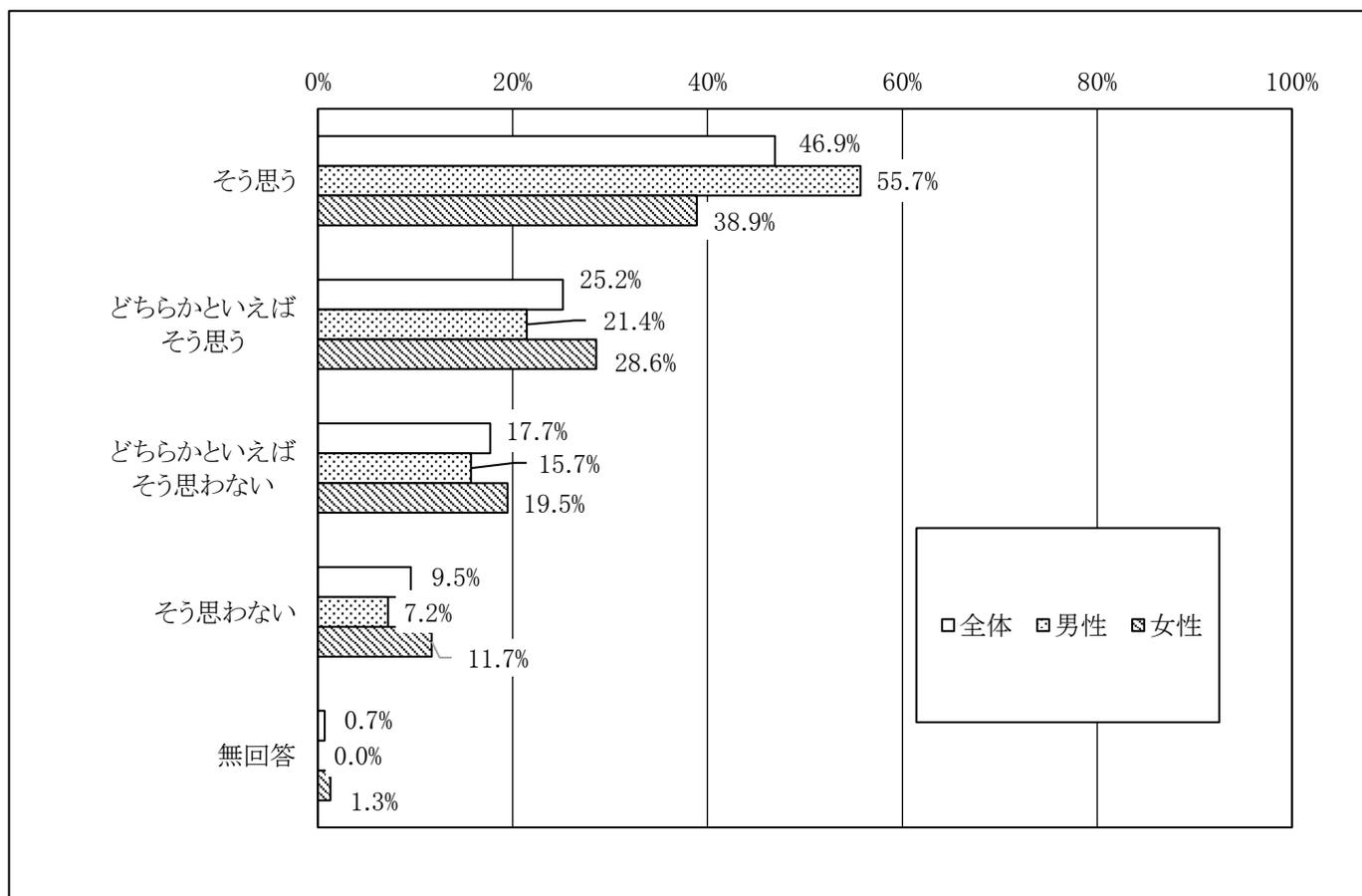
・DV行為に対する意識について

問8. あなたは、夫婦や恋人同士で起こる次のようなことをDV行為だと思いますか。

(1)何を言っても無視する

7割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性の割合が高く、女性との差は9.6ポイントとなっています。

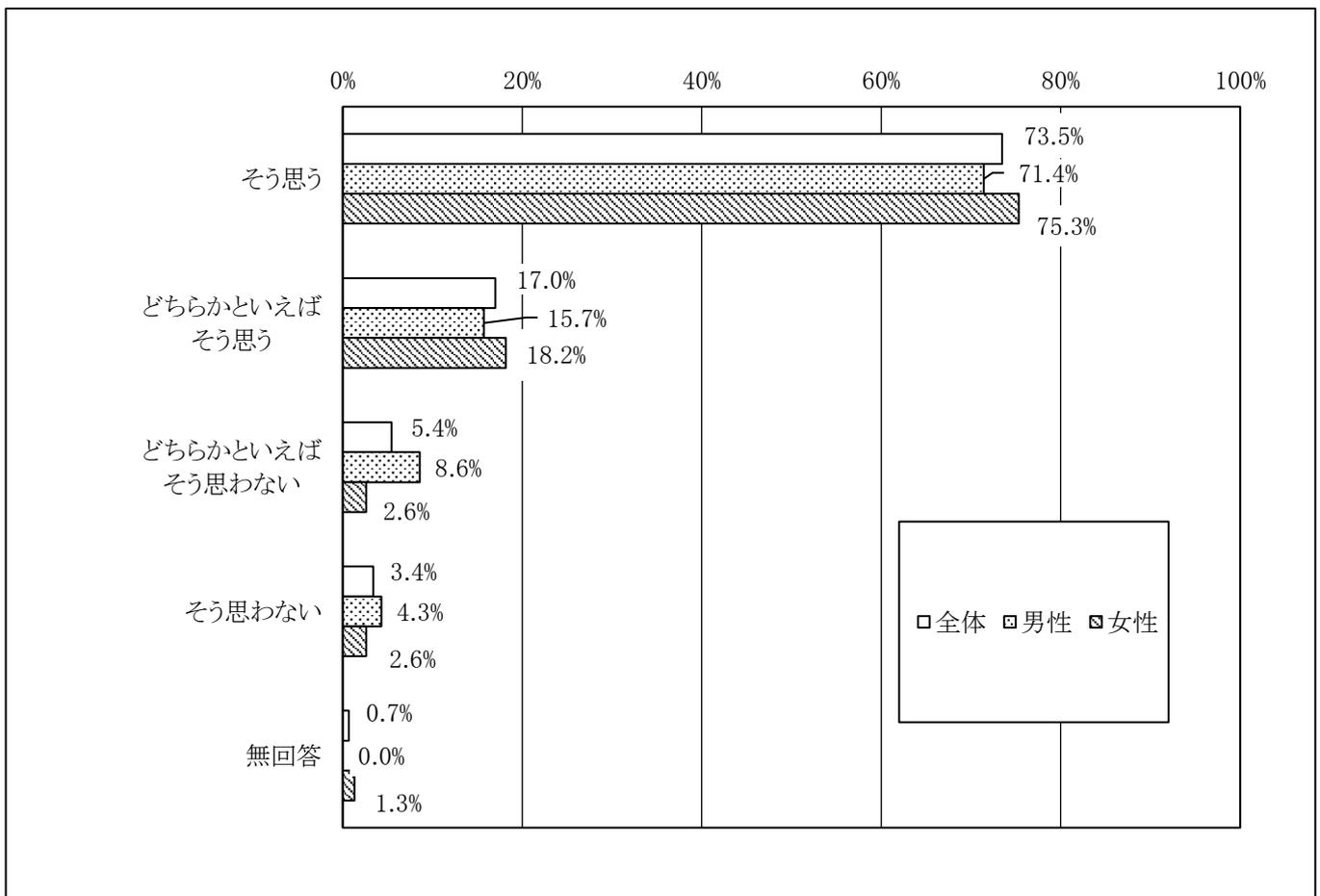
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
そう思う	69	46.9	39	55.7	30	38.9
どちらかといえばそう思う	37	25.2	15	21.4	22	28.6
どちらかといえばそう思わない	26	17.7	11	15.7	15	19.5
そう思わない	14	9.5	5	7.2	9	11.7
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



(2) 大声でどなる

約9割の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は6.4ポイントとなっています。

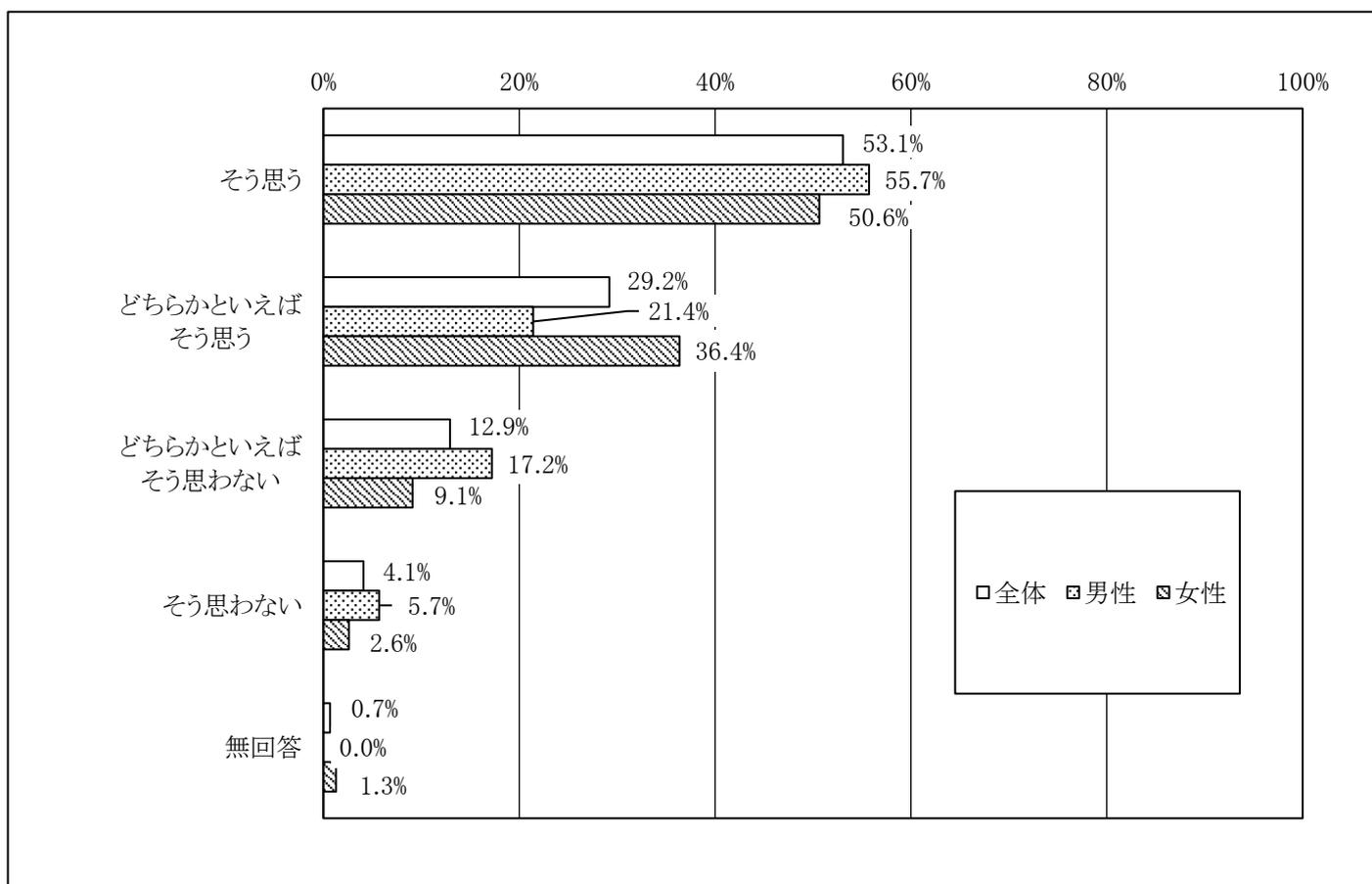
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
そう思う	108	73.5	50	71.4	58	75.3
どちらかといえばそう思う	25	17.0	11	15.7	14	18.2
どちらかといえばそう思わない	8	5.4	6	8.6	2	2.6
そう思わない	5	3.4	3	4.3	2	2.6
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



(3)相手の携帯電話をチェックして、異性の連絡先を消せと言う

8割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は9.9ポイントとなっています。

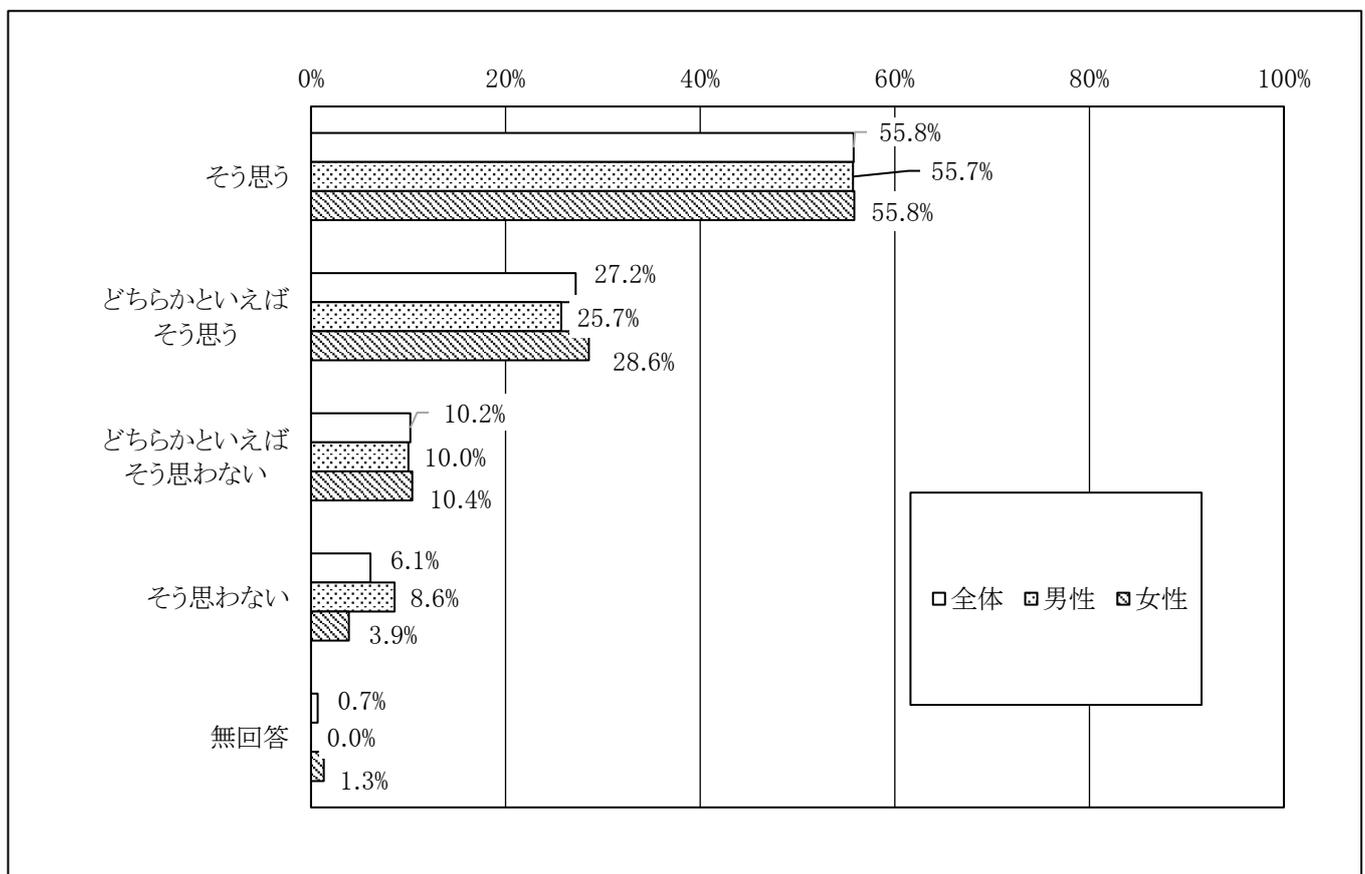
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
そう思う	78	53.1	39	55.7	39	50.6
どちらかといえばそう思う	43	29.2	15	21.4	28	36.4
どちらかといえばそう思わない	19	12.9	12	17.2	7	9.1
そう思わない	6	4.1	4	5.7	2	2.6
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



(4)しょっちゅう電話をしたり、相手の行動を制限しようとする

8割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は3.0ポイントとなっています。

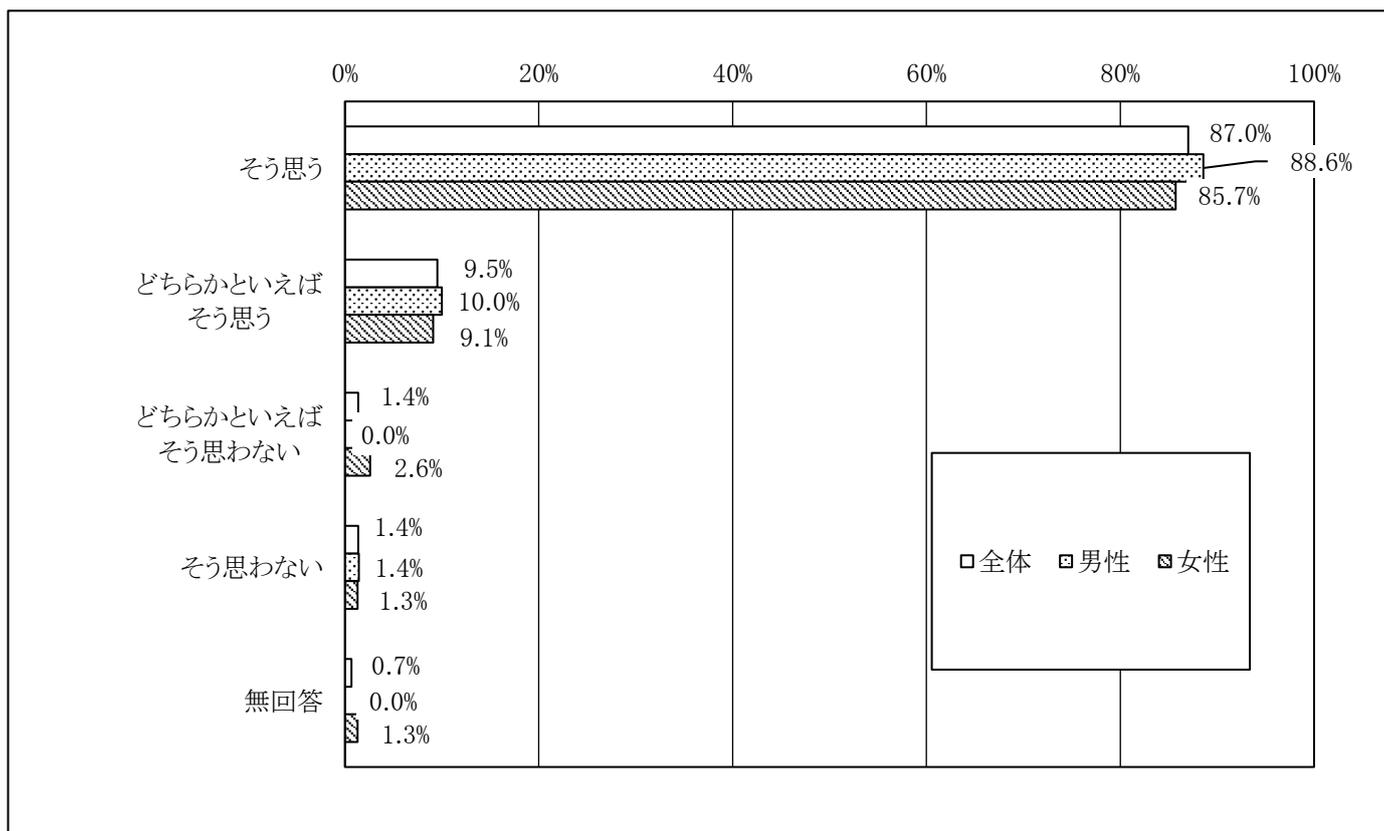
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
そう思う	82	55.8	39	55.7	43	55.8
どちらかといえばそう思う	40	27.2	18	25.7	22	28.6
どちらかといえばそう思わない	15	10.2	7	10.0	8	10.4
そう思わない	9	6.1	6	8.6	3	3.9
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



(5)お金を取り上げる

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性の割合が高く、女性との差は3.8ポイントとなっています。昨年も9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しましたが、女性の割合が高く、男性の割合が90.5%、女性の割合が100%でした。

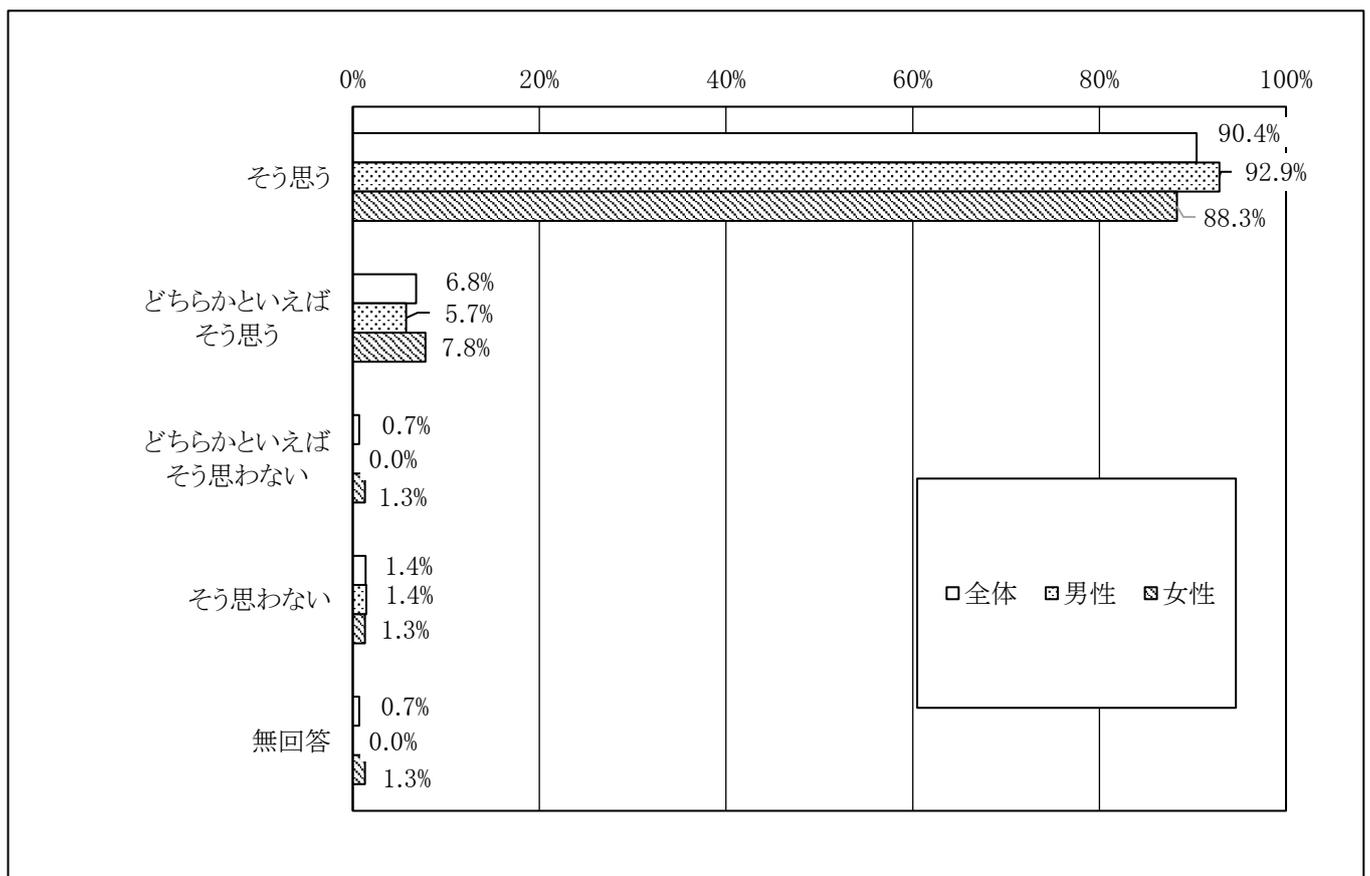
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
そう思う	128	87.0	62	88.6	66	85.7
どちらかといえばそう思う	14	9.5	7	10.0	7	9.1
どちらかといえばそう思わない	2	1.4	0	0.0	2	2.6
そう思わない	2	1.4	1	1.4	1	1.3
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



(6)なぐるふりをしておどす

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性の割合が高く、女性との差は2.5ポイントとなっています。昨年も9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しましたが、女性の割合が高く、男性の割合が90.6%、女性の割合が100%でした。

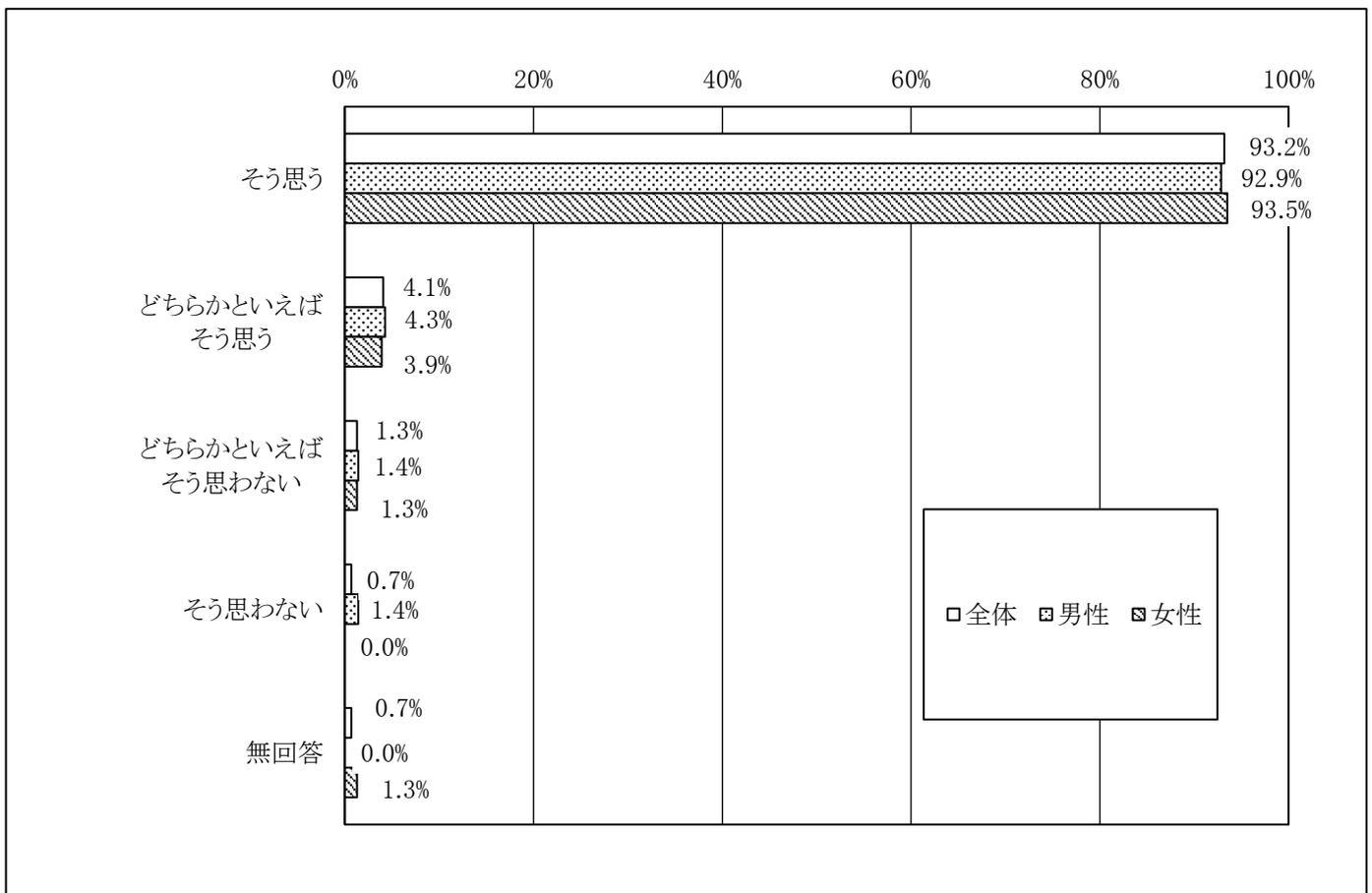
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
そう思う	133	90.4	65	92.9	68	88.3
どちらかといえばそう思う	10	6.8	4	5.7	6	7.8
どちらかといえばそう思わない	1	0.7	0	0.0	1	1.3
そう思わない	2	1.4	1	1.4	1	1.3
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



(7)ものを投げつける

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性と女性の割合の差は0.2ポイントとあまりありませんでした。

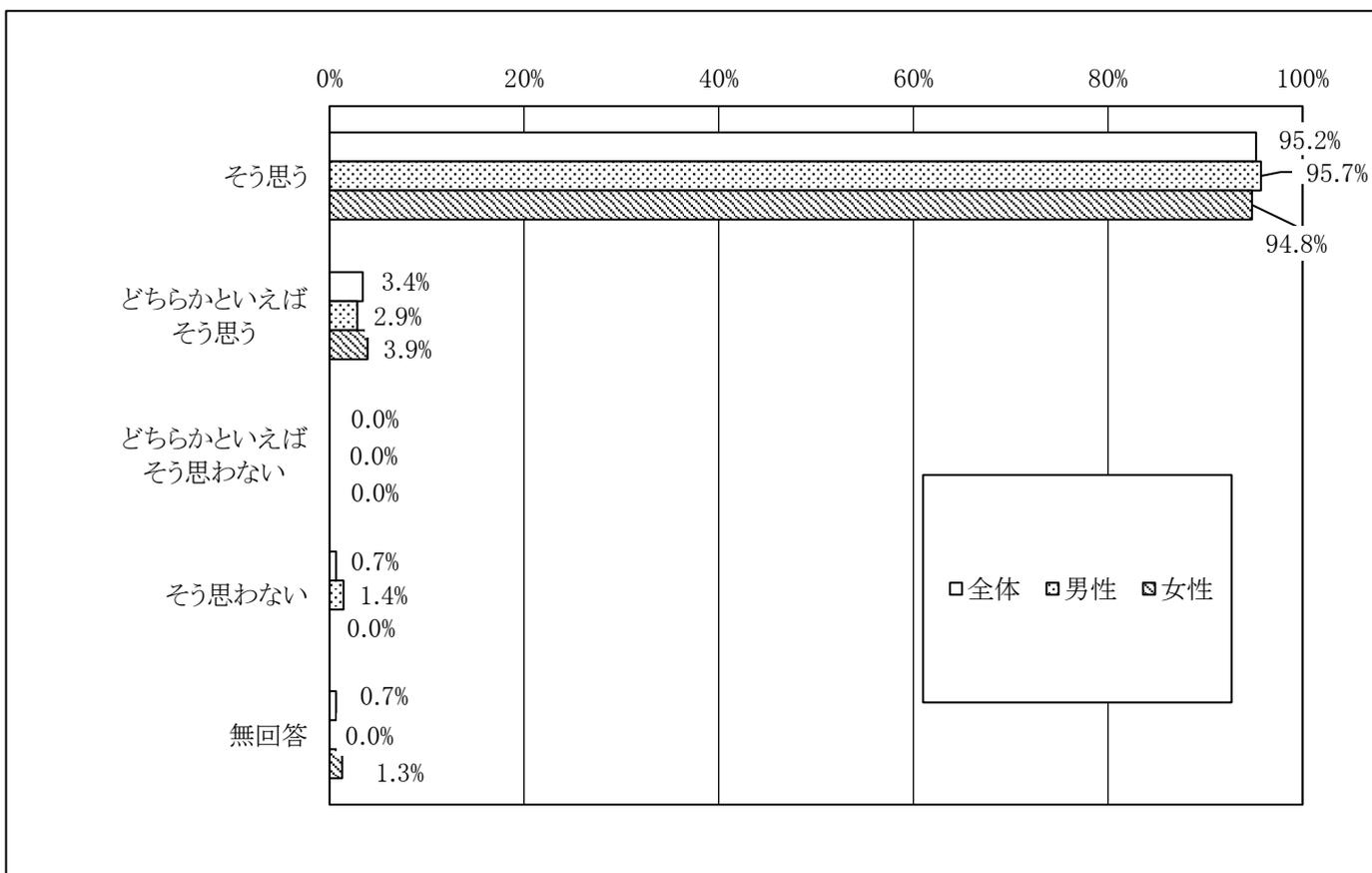
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
そう思う	137	93.2	65	92.9	72	93.5
どちらかといえばそう思う	6	4.1	3	4.3	3	3.9
どちらかといえばそう思わない	2	1.3	1	1.4	1	1.3
そう思わない	1	0.7	1	1.4	0	0.0
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



(8) 身体を傷つける可能性のある物でたたく

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性と女性の割合の差は0.1ポイントとあまりありませんでした。

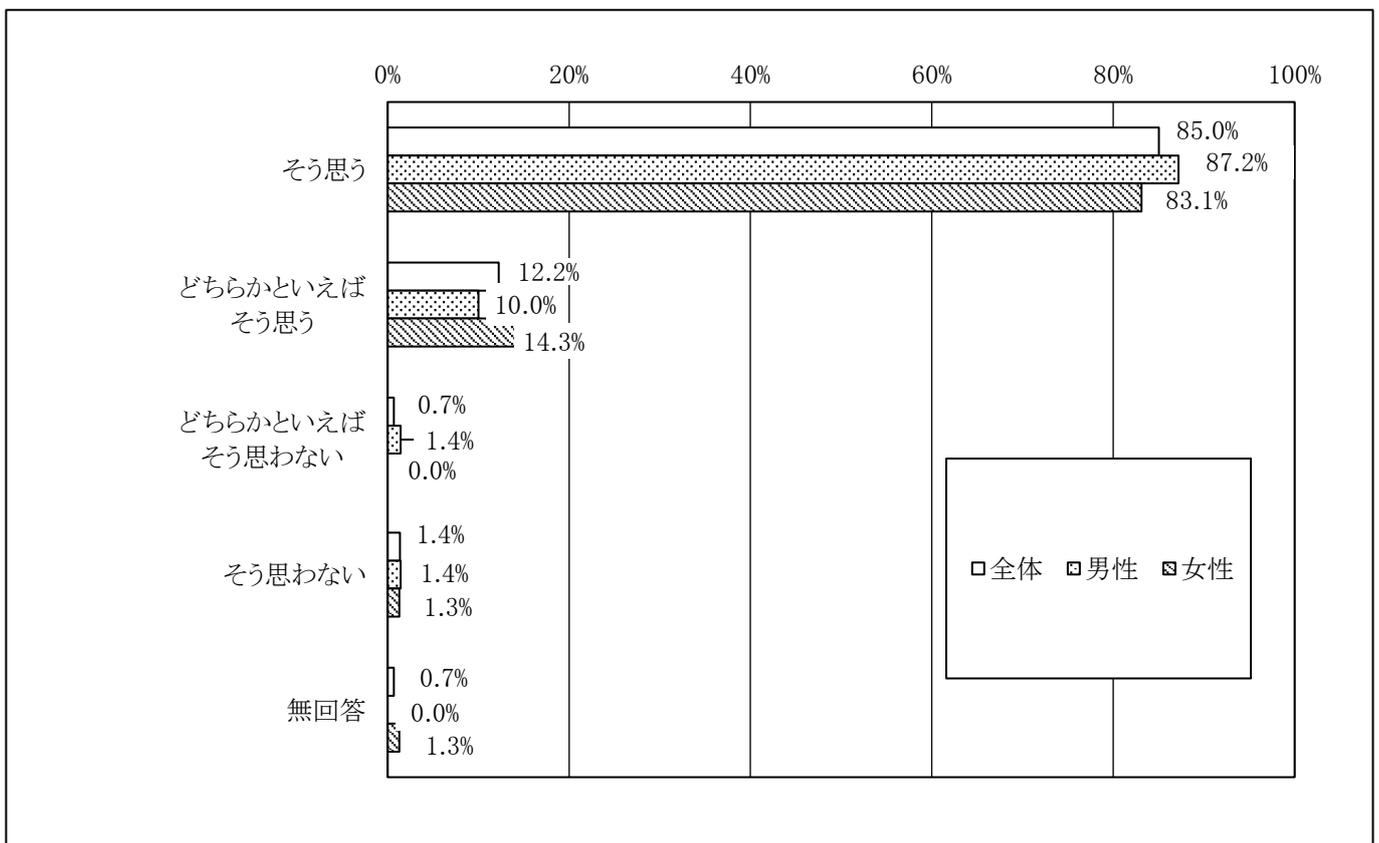
	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
そう思う	140	95.2	67	95.7	73	94.8
どちらかといえばそう思う	5	3.4	2	2.9	3	3.9
どちらかといえばそう思わない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
そう思わない	1	0.7	1	1.4	0	0.0
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



(9)相手が嫌がっているのに、無理やり体を触ったりする

9割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答し、男性と女性の割合の差は0.2ポイントとあまりありませんでした。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
そう思う	125	85.0	61	87.2	64	83.1
どちらかといえばそう思う	18	12.2	7	10.0	11	14.3
どちらかといえばそう思わない	1	0.7	1	1.4	0	0.0
そう思わない	2	1.4	1	1.4	1	1.3
無回答	1	0.7	0	0.0	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100



○ (1) ~ (9) について、全体的には昨年度と同じような割合の回答となりました。

※DV行為の種類

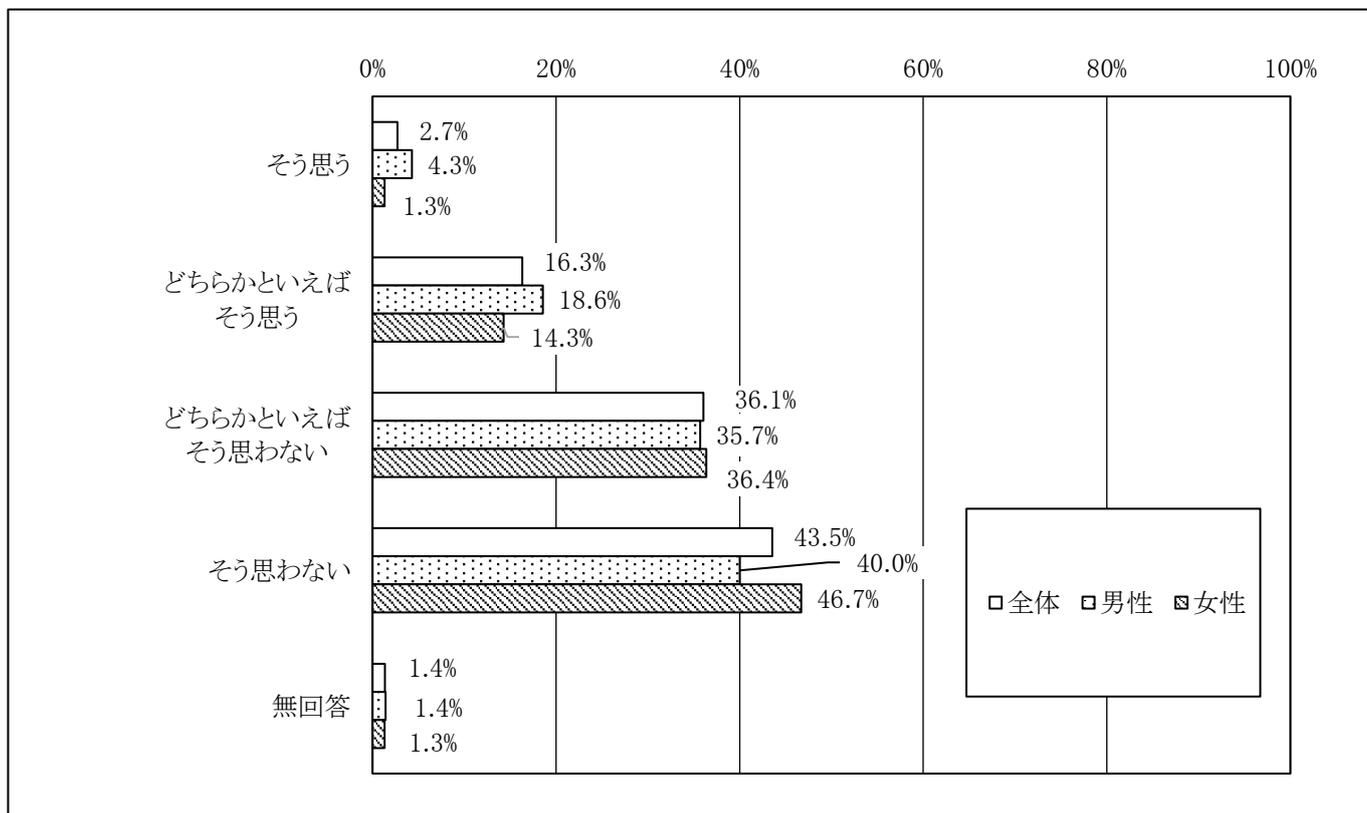
1. 身体的暴力：相手に物を投げる、叩くなど
2. 心理的感情的暴力：汚い言葉を言う、無視する、嫌がらせ、ストーキング、頻りに電話をかけてくる、過剰な嫉妬など
3. 性的暴力：自主的な承諾なしのあらゆる性的な物理的接触
4. 経済的暴力：お金を貢がせる、お金を借りて返さないなど

問9. 次の考え方について、あなたはどのように思いますか。

(1) DV行為を受けるのは、DV行為を受けるほうにも悪いところがあるからだ

約8割の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は7.4ポイントとなっています。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
そう思う	4	2.7	3	4.3	1	1.3
どちらかといえばそう思う	24	16.3	13	18.6	11	14.3
どちらかといえばそう思わない	53	36.1	25	35.7	28	36.4
そう思わない	64	43.5	28	40.0	36	46.7
無回答	2	1.4	1	1.4	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100

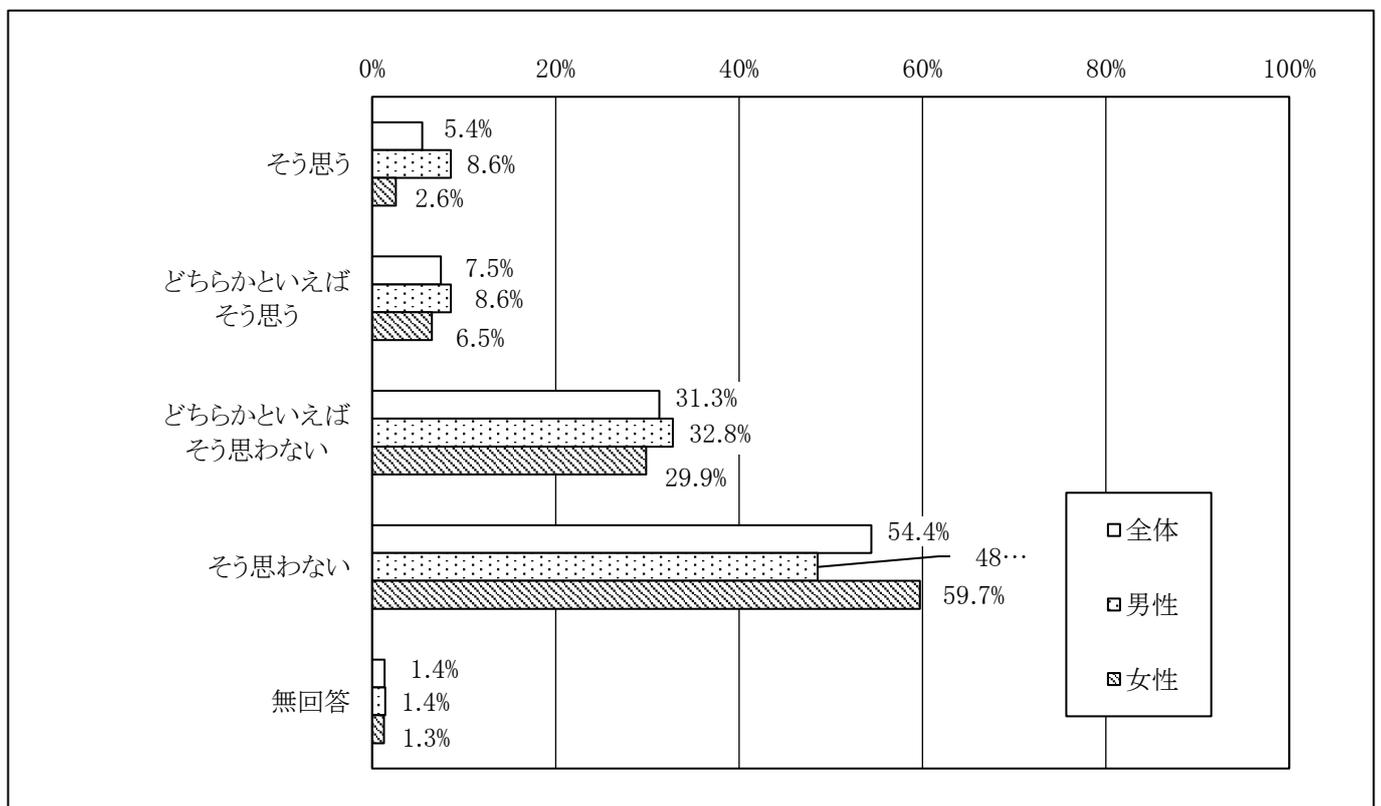


○昨年度も、8割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は9.3ポイントでした。

(2)家の中で起こるDVは、家庭内で解決すべきだ

8割の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は8.2ポイントとなっています。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
そう思う	8	5.4	6	8.6	2	2.6
どちらかといえばそう思う	11	7.5	6	8.6	5	6.5
どちらかといえばそう思わない	46	31.3	23	32.8	23	29.9
そう思わない	80	54.4	34	48.6	46	59.7
無回答	2	1.4	1	1.4	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100

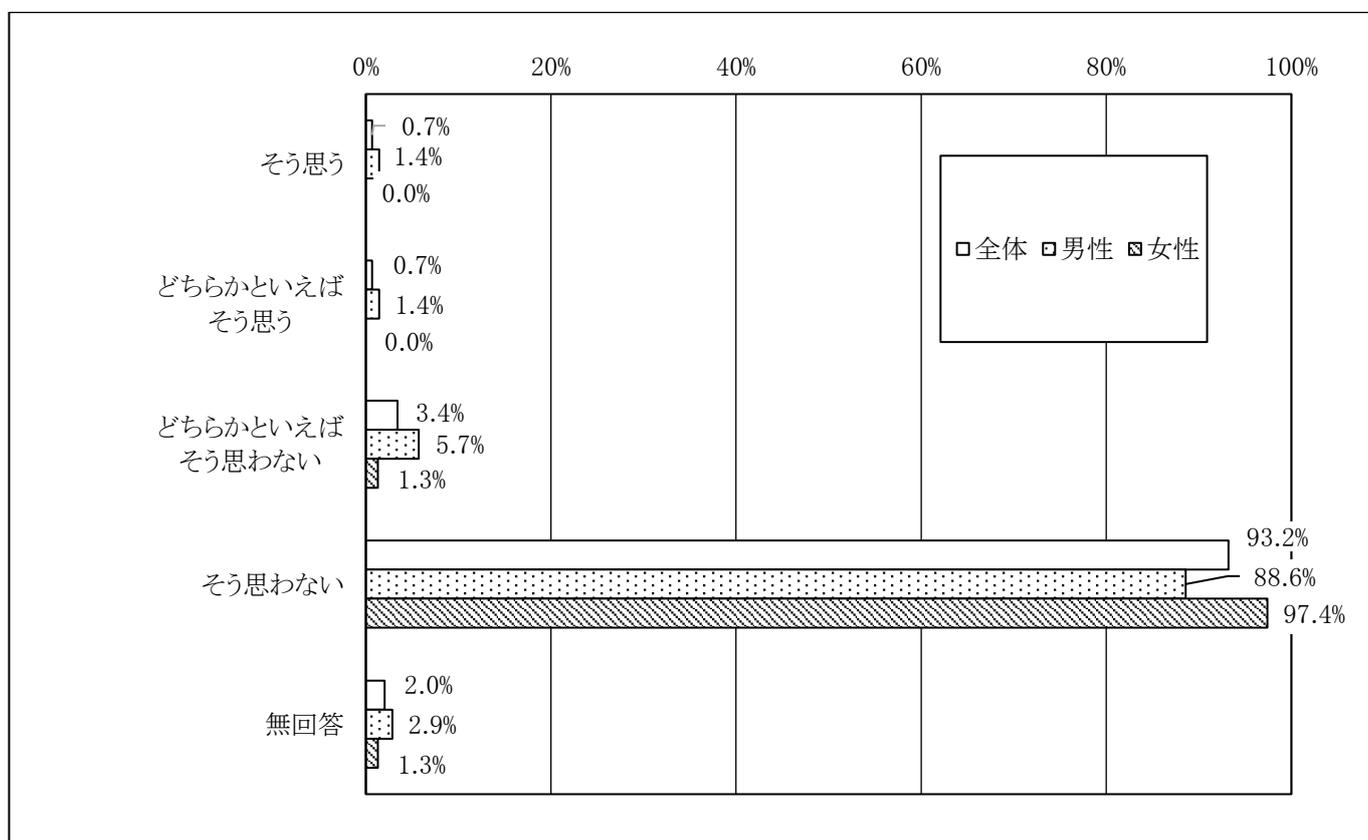


○「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」の割合が昨年度より5.3ポイント高くなりました。

(3) 男性が暴力的なのは、男らしさの証である

9割以上の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は4.4ポイントとなっています。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
そう思う	1	0.7	1	1.4	0	0.0
どちらかといえばそう思う	1	0.7	1	1.4	0	0.0
どちらかといえばそう思わない	5	3.4	4	5.7	1	1.3
そう思わない	137	93.2	62	88.6	75	97.4
無回答	3	2.0	2	2.9	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100

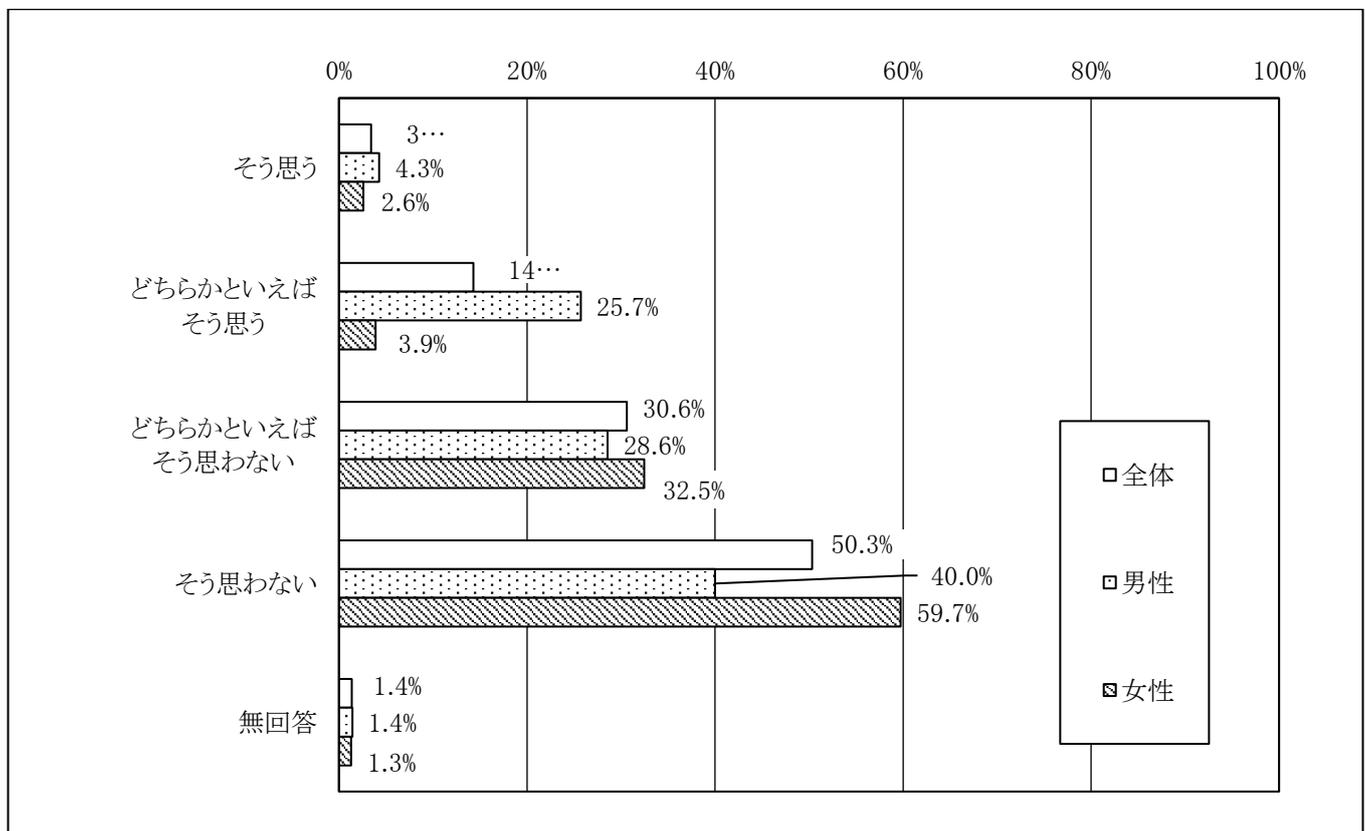


○昨年度とやや同じ割合の回答となりましたが、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の割合が微減し、「無回答」の割合が微増しました。

(4) DV行為を受けても話し合いで解決できるはずだ

8割の生徒が「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答し、女性の割合が高く、男性との差は23.6ポイントとなっています。

	全体		男性		女性	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
そう思う	5	3.4	3	4.3	2	2.6
どちらかといえばそう思う	21	14.3	18	25.7	3	3.9
どちらかといえばそう思わない	45	30.6	20	28.6	25	32.5
そう思わない	74	50.3	28	40.0	46	59.7
無回答	2	1.4	1	1.4	1	1.3
計	147	100	70	100	77	100

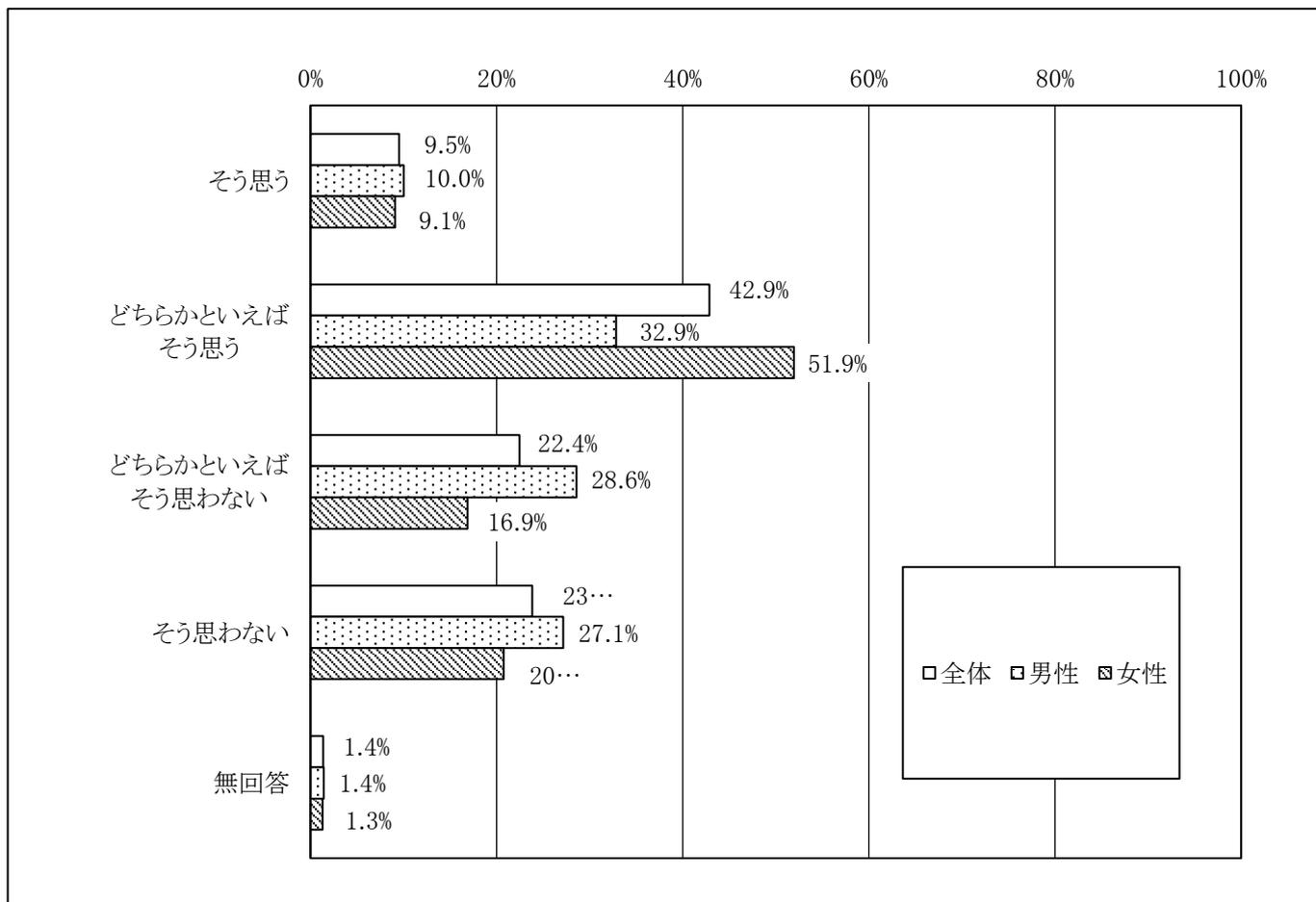


○昨年とやや同じ割合の回答となりましたが、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」の割合が3.9ポイント減少し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が3.8ポイント増加しました。

(5) 女性に対するDVの背景には女性差別がある

5割以上の生徒が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しました。

	全体			男性			女性	
	人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)
そう思う	14	9.5	52.4	7	10.0	42.9	7	9.1
どちらかといえばそう思う	63	42.9		23	32.9		40	51.9
どちらかといえばそう思わない	33	22.4	46.2	20	28.6	55.7	13	16.9
そう思わない	35	23.8		19	27.1		16	20.8
無回答	2	1.4		1	1.4		1	1.3
計	147	100		70	100		77	100



○「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒の割合が、昨年度より16.0ポイント減少し、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答した生徒の割合が、16.4ポイント増加しました。

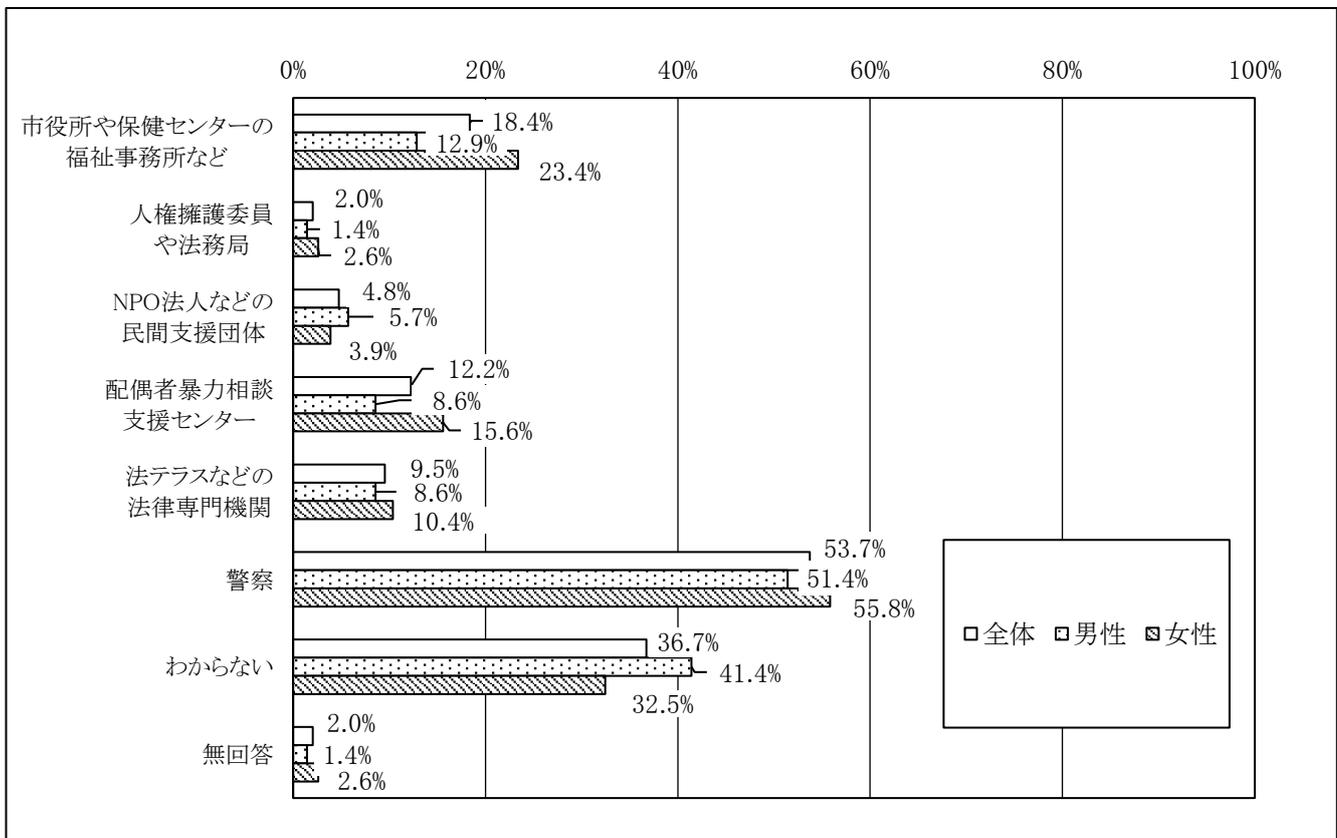
・DV行為に関する相談機関について

問10. あなたは、デートDV等の被害を受けたとき、次の相談機関のうち、どこに相談しますか。
(複数回答)

「警察」の割合が最も高く、5割以上の生徒が回答しました。次いで相談先が「わからない」の割合が高くなっています。

	全体(147人)		男性(70人)		女性(77人)	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
市役所や保健センターの福祉事務所など	27	18.4	9	12.9	18	23.4
人権擁護委員や法務局	3	2.0	1	1.4	2	2.6
NPO法人などの民間支援団体	7	4.8	4	5.7	3	3.9
配偶者暴力相談支援センター	18	12.2	6	8.6	12	15.6
法テラスなどの法律専門機関	14	9.5	6	8.6	8	10.4
警察	79	53.7	36	51.4	43	55.8
わからない	54	36.7	29	41.4	25	32.5
無回答	3	2.0	1	1.4	2	2.6

※全体、男性、女性の各割合は、それぞれの生徒数に対する割合



○昨年度と同じような割合の回答となりました。相談先が「わからない」という生徒の割合も昨年度より減少したものの約4割いることから、相談先の周知が必要です。

・性別に関わらず、生きやすい社会にするために必要なことについて

問11. あなたは、「女性にとっても男性にとっても生きやすい社会」にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。(自由回答) (一部抜粋)

固定概念の撤廃、男女平等な社会づくり

- ・男女差別をなくすような会をつくればいいと思う。
- ・女性だけ優先されていることをよく思わない男性もいると思うのでどちらも平等にしていく必要があると思います。
- ・女性と男性という性別にとらわれない柔軟な思考を持つことが必要。
- ・会社であればその社員一人一人が平等であることを理解出来たらいいと思う。不平等を感じたら言える関係も必要だと思う。
- ・まずは男女差別から無くすことが必要だと思う。
- ・昔とちがって男女平等をめざす社会であることを理解して行動すること。
- ・性別関係なくいろいろなことに挑戦できるようにすること。
- ・女性と男性では何も変わらない対等な存在であることを認識すること。
- ・男だからあれをやるとか女だからあれをやるということをなくせばいい。
- ・今は男女平等だということをもっと広める。
- ・差別を考えない社会にすればよい。
- ・「女だから」「男だから」という考えを減らしていくことが必要。
- ・男女共同参画の有用性について説き、男女ともに平等な社会を形成していけるようにする。
- ・男と女の固定的な印象をなくする。逆に女性を擁護するのではなく、平等にする。
- ・「女性らしさ」「男性らしさ」で決めるのではなく「自分らしさ」で決めたり政治参加や家の家事なども男女関係なしにやるべきだと思いました。
- ・男性だけが不利になるような社会のしきみを減らすこと。
- ・どれにおいても今は男女とも同じ生活をしていると思うので、男女差別がなくなる社会にしたりするなどなるべく平等でいることができることが必要だと思います。

男女がお互いを理解し尊重し合う、思いやる

- ・男性がやった方がいいこと、女性がやった方がいいことがあると思うので時と場合に応じて役割分担をしていく必要があると思った。
- ・性別によった役割を決めず、誰でも能力で上へ行けるような社会にする必要があると思います。そのためには昔のような古い価値観を捨て、現代らしい価値観を取り入れることで、生きやすい社会を作っていかなければならないと思います。また片方を尊重しすぎず、両方を同じくらい尊重することが大切だと思います。
- ・今も昔も変わっていない。女性だから男性だからという理由をよく耳にします。男女の差別を消そうと思ってもまだあります。自分にはないもの、でも相手にはあるものを見つけ、分かち合うことが必要だと思う。
- ・互いを敵対視しない。
- ・自分の好きなことをはっきりと発言できて、自分の好きなことが自由にできること。
- ・どちらも認め合うことが大切

- ・女性はこう、男性はこう、と決めつけるのではなくそれぞれの適性や、やりたいことができるような環境であるべきだと思う。ただし、希望だけでなく、個々のスキルや能力を考慮したうえで判断すべき。
- ・全員が性別による固定的な考えをもたず、一人一人が尊重される必要があると思う。
- ・できるだけ、どちらの意見も尊重することが必要。そして実現させる。
- ・たくさんの人と話し合うこと。
- ・まずは男女の内の偏見をなくすことが必要。

その他

- ・男女共同参画社会の実現のために明確な法、対策が必要。
- ・気軽に相談したり、助けを求めやすい環境をつくること。どこからがDVとかセクハラとかわからないことがあるからちゃんと説明する機会を設けるべき。
- ・自分の能力を自分で理解して、自分に一番適した場所で役割をもらうことが必要。適材適所という感じで得意なことに取り組めたらいいと思う。
- ・一人ひとりの意識が大事。
- ・自分の中ではどっちにとっても生きやすい社会が作れるとは思えないが、もし作れるとしたら憲法で強制的にするべき
- ・差別をなくす。偏見をなくす。
- ・昭和のような亭主関白的な考えを持たない。ジェンダーなどの理解を深める。
- ・ちゃんとした制度をつくるとかの対処が必要
- ・議員などの偉い立場にもっと女性を採用するといいと思います。